議会だより

No.105
12ページ～20ページ

明るい未来を見つめ心ひとつに歌声を響かせます（普代小学習発表会）。村議会はそんなあなたたちを応援します

村づくりにどう生かされた

総額38億円の19年度決算を認定

第7回村議会定例会が9月17日から19日までの3日間開かれました。一般会計と一つの特別会計の補正予算、平成19年度の各会計の決算について審議し、提案された議案すべてを原案の通り可決しました。一般質問には6人が登壇。合併問題や地上デジタル放送の難視聴対策、教育課題などについて活発な議論が行われました。

5千2百万円を基金に積み立て

▽一般会計補正予算

補正額6886万2千円を増額し、歳入歳出の予算総額を22億2468万5千円にしました。

歳入の主なものは、地方交付税5千50万2千円、前年度繰越金734万9千円、国庫支出金と県支出金を合わせた保育所入所措置費を732万4千円などをそれぞれ増額しています。

歳出の主なものは、総務費の財政調整基金積立金に5千266万1千円、民生費の保育所入所措置費委託料に997万5千円などをそれぞれ増額しました。

教育委員会委員 道合さん、熊谷さん

▽教育委員会委員の任命同意

道合多喜夫さん

熊谷　榮子さん

9月30日で任期満了になる、黒崎の道合多喜夫教育委員会委員(66)と堀内の熊谷榮子教育委員会委員(61)の両委員を再任しました。

任期は10月1日から平成24年9月30日までの4年間です。

一般と特別会計 19年度決算認定

▽平成19年度一般会計、特別会計決算の認定

平成19年度の一般会計と国民健康保険・簡易水道・休養施設事業など、6特別会計の決算が認定されました。

詳細は17ページに掲載しています。

9月定例会

発議1件を可決 大臣などに提出

議員から原油高騰への緊急対策を求める請願が提出されたのを受けて、発議案1件を可決。国に対して意見書を提出しました。請願の趣旨と要望項目の要旨は次の通りです。

原油高騰への緊急対策を求める意見書

原油の異常高騰が県民生活に大きな打撃を与えている。この異常事態に対して対策を講じるよう国へ要望するものです。

1　原油高騰の要因となっている「投機マネーの流入」について、規制すること。

2　石油備蓄の取り崩し、石油諸税の引き下げなど石油製品高騰への緊急対策を行うこと。

3　石油の依存度の高い農林漁業、運輸業などへの緊急支援対策を行うこと。

■意見書の提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣

飲酒運転の撲滅訴え 議員がチラシを配布

今年8月中に久慈管内で連続して3件の交通死亡事故が発生しました。そのうちの1件は、本村の住民が関係する飲酒運転による死亡事故でした。

このことを受け、村議会は議員全員協議会を緊急に開き、飲酒運転撲滅を訴えるチラシを手作りで作成配布することを決めました。

チラシの配布は10人の議員が分担し、村内各世帯に直接足を運び配布しました。

交通事故のない明るい村づくりため、飲酒運転は絶対やめましょう。

このままではいけないと、飲酒運転追放のチラシを全戸に配布しました

金子議員が意見発表

町村議会議員シンポジウム

平成20年度町村議会議員シンポジウムが10月17日、盛岡市の自治会館で開かれ、金子泰男議員が意見発表しました。

シンポジウムには、県内の町村議員ら約120人が参加しました。

パネルディスカッションでは、共通テーマの「議会の意思決定と民意の反映」～多様な住民の意見を議会審議にどう反映させるか～について、金子議員を含めた他町村議会議員4人が各町村議会の取り組みなどについて約10分間、事例発表し意見を述べました。

各町村の参加議員からは多くの意見や質問が出され、今後の議会運営の参考となる有意義なシンポジウムでした。

金子　泰男 議員

第6回臨時議会

地震復旧に558万円

第6回臨時会が8月25日に開かれ、岩手北部地震の災害復旧費を計上した一般会計補正予算案など9議案を可決し、閉会しました。

補正予算は災害復旧費558万4千円を増額し、歳入歳出の予算総額を21億5582万3千円にしました。主な歳出はくろさき荘の補修工事155万円、黒崎小、普代中、ふれあい交流センターなどの修繕費127万5千円を計上しました。

第8回臨時議会

補正など4議案を可決

第8回臨時議会が10月21日開かれ、一般会計予算案など4議案を可決、閉会しました。

一般会計補正予算は前年度繰越金313万9千円などを増額し、歳入歳出の予算総額を22億2782万4千円にしました。主な歳出は簡易水道特別会計への繰り出し金140万円、番戸調査の印刷費43万円などをそれぞれ増額しました。